

高議第 12 号議案

地域活性化を目指した本庄市謎解きゲームの開催を求める意見書

上記の議案を裏面のとおり、本庄市議会会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和7年8月18日

提出者	地域再生クリエイティブ委員会	
委員長		小島 凜太郎
副委員長		佐藤 潤
委員		坂本 航太郎
同		坂本 美心華
同		関根 脩真
同		町田 和真

本庄市議会高校生議会議長

早稲田大学本庄高等学院 齊藤 優舞 様

意見書（地域再生クリエイティブ委員会）

当委員会の所轄事項に関し、高校生の視点から、以下の項目について提案するものです。

記

1. アクティビティを通じた本庄市の魅力発信を図るために、市内全体を活用した大規模謎解きイベントを複数回開催すること。
2. イベント参加者の市内周遊を促進するために、可能な範囲で事業者と連携して、新規交通体系の構築をすすめること。また、参加者の安全管理及び参加の簡便化のために、それらの交通体系に沿って謎を設置すること。
3. イベントを通じた市内経済活性化を図るために、謎解きの景品として市内のみで使用可能な商品券などを配布し、参加者の消費活動を促進すること。また、本庄市の魅力発信につなげるために、景品として本庄市の特産品も使用すること。
4. イベントのクオリティ担保、話題性向上のために、謎解きイベント・宝探しの専門会社と連携して企画、運営を行うこと。
5. イベントの知名度向上、参加者数の向上を図るために、市の SNS を活用した積極的なプロモーションを行うこと。
6. 景品の提供や交通体系の再構築において、地域企業をスポンサーとして迎え、資金・商品提供を依頼すること。
7. 話題創出、全世代が楽しめるイベントの企画のために、企画、運営に学生が関わること。

以上、意見書を提出します。

令和7年8月18日

本庄市議会高校生議会